

## コロラド州：小麦作柄と気象状況 2011年7月17日現在

**概況** コロラド州の7月17日に終わる1週間の気象は、気温は平年を上回り、東部平原では驟雨があり、又全州各地で雷雨があった。但し、南部では早魃状態が続いた。1週間の州平均農作業可動日数は5.4日であった。(前週：5.4日)であった。圃場のTopsoil及びSubsoilの土壌水分は前週より多少改善し“Adequate”の圃場が増えたが、昨年より非常に乾燥した状態が続いた。2011年産冬小麦は、全州の82%が完熟し53%が収穫された。収穫の進展は昨年並び5年平均より多少遅れていた。小麦の作柄は前週より多少改善したが、昨年より低い評価が続いた。今期の小麦の単位収量は、乾燥気象の為2010年産小麦より大幅に落ち込む予想であった。

コロラド州の2011年産冬小麦の作付け品種は、Hatcherが昨年に続き第1位であり、全体の34.5%を占め、第2位はRipperで12.1%、TAM 11が第3位で9.5%、Bill Brownが昨年の10位から4位の5.1%、第5位はBond CLの3.9%(昨年：4.9%)であった。Top 10品種で全州の74.6%を占めた。第10位はPrairie Redの1.5%(昨年第5位)であった。

### 2011年7月17日現在：土壌水分(\*)

(%)		Very Short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	9	20	65	6
	Last week	6	26	63	5
	Last year	3	12	83	2
Subsoil	This week	13	21	63	3
	Last week	15	22	61	2
	Last year	3	14	82	1

### 2011年7月17日現在：冬小麦生育状況(\*)

(%)	This Week	Last Week	Last Year	5-Yr Avg.
Ripe	82	61	88	92
Harvested	53	35	57	64

### 2011年7月17日現在：冬小麦の作柄状況(\*)

(%)	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	11	17	32	32	8
Last week	12	16	35	31	6
Last year	2	5	18	60	15

(\*) Source : National Agricultural Statistics Service, USDA-Colorado Field Office. 5-yr avg. means average of 2006,2007,2008,2009 and 2010.

以上